

フードバンクでのボランティア活動に参加しました！

セブン&アイHLDGS.

2018/7/30

セブン&アイHLDGS.

CSRアクション

セブン&アイグループでは、定期的にフードバンク団体セカンドハーベスト・ジャパンでのボランティア活動を実施しています。6月29日（土）の活動には、社員10名が参加しました。

私は、フードロスの削減に以前から興味がありました。その一つの解決策として食べ物に困っている施設や人に届ける取り組みをしている現場を直接体験できるとの事で、今回参加しました。作業自体は店舗で行う品出し業務に近く、ご一緒した皆さんと楽しく参加できました。たまたまかもしれませんが、参加者がほぼ女性でしたので、助け合い社会での女性パワーの勢いを非常に感じたボランティア活動でした！



セブン&アイHLDGS.
人事企画部 人権啓発センター
稲 康隆



上野公園で提供する食事を準備



届いた食品の賞味期限を確認して、
種類や期限ごとに仕分け

楽しく作業をしながら、日本の貧困や
フードロスについて考える一日になりました！



関連情報

「セカンドハーベスト・ジャパン」とは <http://2hj.org/>
日本で初めてフードバンク活動を始めた認定NPO法人です。フードバンク活動とは、食品企業や量販店、卸業者が、包装の破損や賞味期限が迫っているなど、市場に流通できない食品を福祉施設や生活困窮者（家庭）に届ける活動です。セカンドハーベスト・ジャパンは、現在、東京2020：10万人プロジェクト（同時並行で神奈川県、埼玉県6万人）として、東京都内だけで1年間に10万人に対して生活を支えるのに十分な食べ物を渡すことを目標としており、食品の受け渡し拠点（フードパントリー）の拡充などに取り組んでいます。